

意見交換会実施報告書

令和 5 年 2 月 14 日

裾野市議会議長 様

報告者 勝又 利裕

1. 意見交換会の概要

開催日時	令和 5 年 1 月 31 日 10 時 00 分 ~ 12 時 00 分
開催場所	市役所 5 階 第 1 委員会室
代表者 (委員会名)	勝又利裕 総務委員会
出席議員	勝又利裕、浅田基行、井出悟、岡本和枝、三富美代子、内藤法子、 則武優貴
参加市民数 (団体名)	2 人 (マチテラス製作所)
実施 内容	議会報告
	意見交換

2. 市民の質問・意見等

質問と回答など	<ul style="list-style-type: none">・明確な質問は無かった。【市民協働の意義について】意見交換の内容を掲載する。・市民協働とは、課題解決のための合意形成の過程である。 市民活動センターは、市民が自ら身近な課題を取り上げて課題解決が感じられるよう、NPOやボランティア活動への支援について行政と市民の間に位置した中間支援機能の役割を果たすようにしている。 目立たないことも多く、自立的に活動が出来るようになると中間支援が不要となるため成果が見えにくい一面もある。・様々なプラットフォーム（社会福祉協議会、コミュニティスクール、地域包括支援センターなど）が連携をとれるような仕組み作りが必要である。・行政や議会は市民に寄り添って一緒に考えていくことが必要であるとの認識を共有した。・裾野市は市民協働のまちづくりを掲げており、市民とともに考えるような伴走支援が大切である。
---------	--